

山 岳 遭 難 発 生 状 況

(令和 8 年 1 月 1 日～令和 8 年10月 4 日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和 7 年数値は 1 月 1 日からの同期間数値）

区 分	発生件数	死 者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令 和 8 年	290	42	3	135	137	317
令 和 7 年	323	42	4	158	152	356
前 年 同 期 比	-33	0	-1	-23	-15	-39

2 山域別発生状況

区 分		件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
北 ア	槍穂高	51	17.6%	6	0	27	24	57
	後立山	82	28.3%	16	1	31	47	95
	その他	34	11.7%	5	0	19	12	36
計		167	57.6%	27	1	77	83	188
中央アルプス		24	8.3%	0	0	12	13	25
南アルプス		9	3.1%	2	1	4	2	9
八ヶ岳連峰		27	9.3%	5	0	11	13	29
その他の山岳		63	21.7%	8	1	31	26	66
計		290		42	3	135	137	317

3 態様別発生状況

区 分	件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
転・滑落	82	28.3%	20	0	66	0	86
転 倒	61	21.0%	0	0	61	0	61
病 気	22	7.6%	9	0	0	13	22
道 迷 い	30	10.3%	0	0	0	40	40
落 石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪 崩	3	1.0%	2	0	1	0	3
落 雷	2	0.7%	0	0	2	0	2
疲労凍死傷	44	15.2%	3	0	0	45	48
不明・他	46	15.9%	8	3	5	39	55
計	290		42	3	135	137	317

4 男女別・年齢別比率

区 分	男 性					(人) 比率	女 性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
1 9 歳以下	1	0	1	6	8	45 20.8%	0	0	1	4	5	26 25.7%	13	71 22.4%
2 0 代	2	0	6	16	24		0	0	2	5	7		31	
3 0 代	1	0	4	8	13		1	0	4	9	14		27	
4 0 代	5	0	11	12	28	75	1	0	2	2	5	33	33	108
5 0 代	5	0	24	18	47	34.7%	1	0	18	9	28	32.7%	75	34.1%
6 0 代	15	1	18	22	56	96	2	0	15	5	22	42	78	138
7 0 以上	8	2	18	12	40	44.4%	0	0	11	9	20	41.6%	60	43.5%
計	37	3	82	94	216		5	0	53	43	101		317	
比 率	68.1%						31.9%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（9/28～10/4）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
9月30日	大姥山	男	77	負傷	滑落	2人パーティできのご採りのため大姥山に入山し、岩場でスリップし、滑落、負傷
9月30日	北アルプス 槍ヶ岳槍沢	男	49	死亡	発病	2人パーティで登山中、何らかの原因で、発病
10月1日	北アルプス 西岳	男	52	無事救出	発病	18人パーティで山小屋宿泊中に、体調不良により、行動不能
10月2日	北アルプス 槍ヶ岳槍沢	女	59	負傷	転倒	2人パーティでババ平から槍ヶ岳へ向けて登山中、槍沢付近で、転倒、負傷
10月2日	霧ヶ峰高原 車山	男	71	負傷	転倒	2人パーティで車山肩から入山し、車山山頂方面へ向けて登山中、転倒、負傷
10月2日	中央アルプス 木曽駒ヶ岳	男	61	無事救出	道迷い	単独で千畳敷から入山し、濃ヶ池周辺を登山中、道に迷い、行動不能
10月2日	北アルプス 餓鬼岳	男	61	死亡	不明	単独で白沢登山口から入山し、ケンズリ付近を登山中、何らかの原因により、行動不能
10月3日	北アルプス 白馬乗鞍岳	女	60	負傷	転落	2人パーティで拇池から入山し、白馬乗鞍岳周辺の山小屋に宿泊中、山小屋内の中二階から、転落、負傷
10月3日	北アルプス 燕岳	女	59	負傷	転倒	2人パーティで合戦尾根を下山中、バランスを崩し、転倒、負傷
10月3日	北アルプス 赤岩岳	男	61	死亡	滑落	2人パーティで大天井岳から槍ヶ岳方面へ向けて縦走中、何らかの原因により、滑落
10月3日	南アルプス 仙丈ヶ岳	男	65	死亡	滑落	単独で北沢峠から入山し、藪沢カール付近で、何らかの原因により、滑落
10月3日	中央アルプス 空木岳	男	59	負傷	その他	単独で駒ヶ根高原スキー場から入山し空木岳方面へ向けて登山中、池山尾根付近で、肩を負傷、行動不能
10月4日	北アルプス 白馬岳	女	64	負傷	転倒	2人パーティで白馬岳から拇池へ向けて下山中、三国境付近で、スリップし、転倒、負傷
						上記現場写真
10月4日	下伊那郡喬木村の山林内	女	81	負傷	滑落	2人パーティできのご採りのため入山し、山林内の斜面で、バランスを崩し、滑落、負傷
10月4日	ハヶ岳連峰 天狗岳	女	68	負傷	転倒	4人パーティで天狗岳から渋の湯登山口へ向けて下山中、転倒、負傷
10月4日	木曽郡大滝村 崩越の山林内	男	81	負傷	滑落	3人パーティできのご採りのため入山し、山林内の斜面で、スリップし、滑落、負傷
10月4日	北アルプス 前穂高岳	男	71	負傷	滑落	2人パーティで前穂高岳から上高地へ向けて重太郎新道を下山中、滑落、負傷
10月4日	北アルプス 餓鬼岳	男	51	負傷	滑落	単独で餓鬼岳から白沢登山口へ向けて下山中、滑落、負傷

先週県内では、18件の山岳遭難が発生しました。長雨がようやく明けた県内では、紅葉の秋山への入山者が増加、各地で遭難が多発し、北アルプスでは赤岩岳、南アルプスでは仙丈ヶ岳で、それぞれ滑落による死亡遭難が発生しました。また、発病による死亡遭難や、転倒による重傷遭難、きのこ採り中の滑落遭難なども発生しました。

【ヘルメットの携行・適切な着用を】

長野県内の山岳遭難の態様の特徴として、「滑落」が挙げられます。急峻な岩場や斜面を有する山岳地帯が多く、スリップやバランス崩しを契機とした滑落で、毎年多くの死傷者が出ています。登山やきのこ採りで入山する際は、万が一に備えて、ヘルメットを携行し、適切に使用しましょう。ヘルメットを被っているから絶対に大丈夫、とは言い切れませんが、滑落や転倒、落石等、山岳地帯で『致命的な頭部外傷』を負うリスクを格段に減らすことが出来ます。

山には沢山の遭難のリスクが潜在していますが、登山者自身がそのリスクと向き合う必要があります。リスクをいかに抑えつつ、安全な登山を行うことが出来るのか、事前の登山計画、装備の選定、天候判断、自身の技術・体力・体調等を天秤にかけて、慎重に判断しなければなりません。自身の命を守りながら安全に登山を楽しむために、経験を重ね、装備や技術、知識や体力面を常にアップデートしていくことが非常に重要です。